

各報道機関文教担当記者 各位

令和2年11月30日

## 令和2年度 文部科学省 国立大学改革強化推進補助金 「国立大学経営改革促進事業」に採択

このたび、本学は、文部科学省の令和2年度国立大学改革強化推進補助金「国立大学経営改革促進事業」(支援対象：世界最高水準の教育研究の展開が見込まれる国立大学法人)に採択されました。

【本学の構想名】“卓越研究領域の育成・先鋭化”と“グッドプラクティスの全学展開”による卓越分野増幅型経営改革金沢モデルの展開

【補助事業期間】令和2年度から令和3年度

「国立大学経営改革促進事業」とは、平成30年度から、文部科学省が国立大学の経営改革の実装を実現・加速し、国立大学のモデルとなり得る意欲的で先進的な取組に対する支援を行っている事業です。同事業のうち、『世界最高水準の教育研究の展開が見込まれる国立大学法人』にはこれまで9件が採択されており、今年度は6件の申請があり、5件(※)が選定されたものです。

※支援対象：世界最高水準の教育研究の展開が見込まれる国立大学法人

【平成30年度採択】 東北大学、筑波大学、東京大学、名古屋大学（岐阜大学）、京都大学、九州大学

【令和元年度採択】 北海道大学、東京工業大学、大阪大学

【令和2年度採択】 千葉大学、東京医科歯科大学、金沢大学、神戸大学、広島大学

本学では、同事業により、世界と伍する教育研究拠点形成に向け、社会の期待に応え投資を呼び込む“社会とのサーキュレーション”を確立し、地方の中規模総合大学における経営改革モデルを構築することを目指します。

については、取材・報道方よろしくお願いたします。

(参考：文部科学省 Web サイト「令和2年度 国立大学改革強化推進補助金」)

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/houjin/1418294\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/houjin/1418294_00001.htm)

【本件照会先】

金沢大学グローバル人材育成推進機構教育政策室  
TEL：076-264-5020

【広報担当】

金沢大学総務部広報室  
TEL：076-264-5024

### 金沢大学の 経営改革ビジョン

大学が有する経営資源を最大限に活用し、社会における<金沢大学>のプレゼンスを向上させ  
社会からの期待に応え投資を呼び込む“**社会とのサーキュレーション**”の確立を目指す

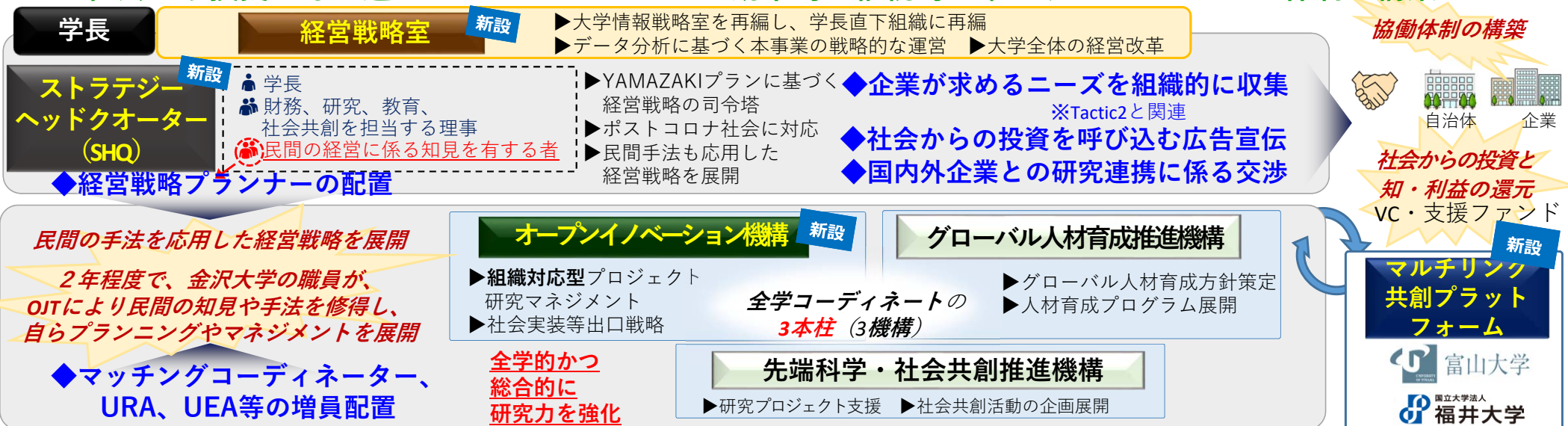
中規模総合大学  
経営改革モデルの構築

大学改革・経営改革 による “成長戦略”

将来性のある“種”を見出し ▶▶ “大樹”に育て ▶▶ 大きな“実”を生む

## プランニング機能・マネジメント機能の強化

社会から投資を呼び込むサーキュレーションを効果的・継続的に確立することができる体制を構築



### Tactic 1 “先鋭分野成長戦略”の短期化

独立研究所を世界的なプレゼンスへと昇華

ナノ生命科学研究所 ナノマテリアル研究所  
がん進展制御研究所 設計製造技術研究所 等

◆ 世界一線級の海外研究者の雇用促進

「クロスアポイントメント制度」  
「リサーチプロフェッサー制度」等を最大限活用

◆ 共同研究講座等のスタートアップ支援

▶ 研究環境整備  
▶ 共同研究実施に係る研究開発費用拡充

世界的な研究成果の早期創出 企業等との組織対組織の共同研究を拡大

### Tactic 2 複数分野並行投資による “3D成長戦略”の展開

“先鋭分野成長戦略”を核に  
“グッドプラクティスの全学展開”による  
複数分野を並行伸長

◆ 新学術創成研究機構 研究ユニット再編成

▶ 自動運転ユニットを核とした独立研究所の創設

◆ 研究域内センター設置

▶ 「観光・地域・国際」をキーワードとした  
研究センターの創設

組織的に、理工系、医薬保健学系、  
人文社会科学系にわたる  
複数分野の研究力を底上げ

### Tactic 3 “他機関連携型成長戦略”の展開

北陸地区国立3大学連携体制の構築・展開

◆ マルチリンク共創プラットフォーム

▶ 各大学の独自性・独立性を維持しつつ、  
目的に応じて柔軟に連携する体制を構築

◆ 3大学連携「Society50総合研究機構（仮称）」  
の設置に向けた卓越研究の展開と共同研究の  
加速、外部資金の拡大による経営基盤の強化

◆ 研究シーズの社会実装を促進する  
大学発ベンチャー支援ファンドの創設

◆ 大学間連携による教育課程等の高度化